

第3章 浦添市総合交通戦略策定の基本的な考え方

3-1 浦添市総合交通戦略の展開方針

以上を踏まえ、短中期の実施計画である浦添市総合交通戦略においては、喫緊の課題へ対応する施策の主な展開方針を、下記のとおりとする。

展開方針 1：自動車交通の円滑性・安全性の向上

- ・慢性的な交通渋滞や交通事故等の自動車を取り巻く交通環境の改善に向けて、浦添市においては、幹線道路網の構築、点在する渋滞交差点の改良、交通事故多発箇所の改良等を効果的に展開する。
- ・路線の整備や交差点改良事業等のハード施策と併せて、自動車交通の円滑性・安全性の向上に資するソフト施策も効果的に展開する。

展開方針 2：公共交通の交通環境の向上

- ・過度な自動車依存からの転換を図り、公共交通の分担率を高めるため、公共交通を取り巻く交通問題の改善に向けた様々な取組みを効果的に展開する。
- ・今後、導入が期待できる公共交通（基幹バス、モノレール、コミュニティバス等）と交通結節点の積極的な推進を図り、既存路線バス等と連携を図った利便性が高い公共交通システムの構築を図る。

展開方針 3：歩行者・自転車の交通環境の向上

- ・短い距離の移動でも自動車を利用してしまいう現状を踏まえ、最も基礎的な交通手段である歩行・自転車を利用しやすい環境の構築に資する様々な取組みを効果的に展開する。
- ・歩きやすい、自転車を利用しやすい環境を構築することで、公共交通の末端交通としての機能を高め、公共交通の利用促進に発展させる。
- ・まちなかを人が歩き、集い、憩う環境を構築することで、街の賑わいと潤いにつなげる。

3-2 浦添市総合交通戦略策定のポイント

ポイント1：計画の実行性を高める

- 浦添市では、幹線公共交通、幹線道路、面的開発等、事業規模が比較的大きい様々な事業（熟度が高い計画も含む）が進められている。本計画の策定においては、これら進行中の事業と関連性を高めることにより、計画そのものの実行性を高めるものとする。

表 3-1 主な事業一覧

分類	事業名等
公共交通	沖縄都市モノレール延長
	基幹バス導入（バスレーン延長等）
幹線道路	沖縄西海岸道路 浦添北道路
	臨港道路浦添線
	浦添西原線（港川道路、浦添西原線シンボルロード区間、浦添西原 BP）
面的開発等	那覇港浦添ふ頭地区公有水面埋立事業
	浦添南第一地区土地区画整理事業（関連市道含む）
	浦添南第二地区土地区画整理事業（関連市道含む）

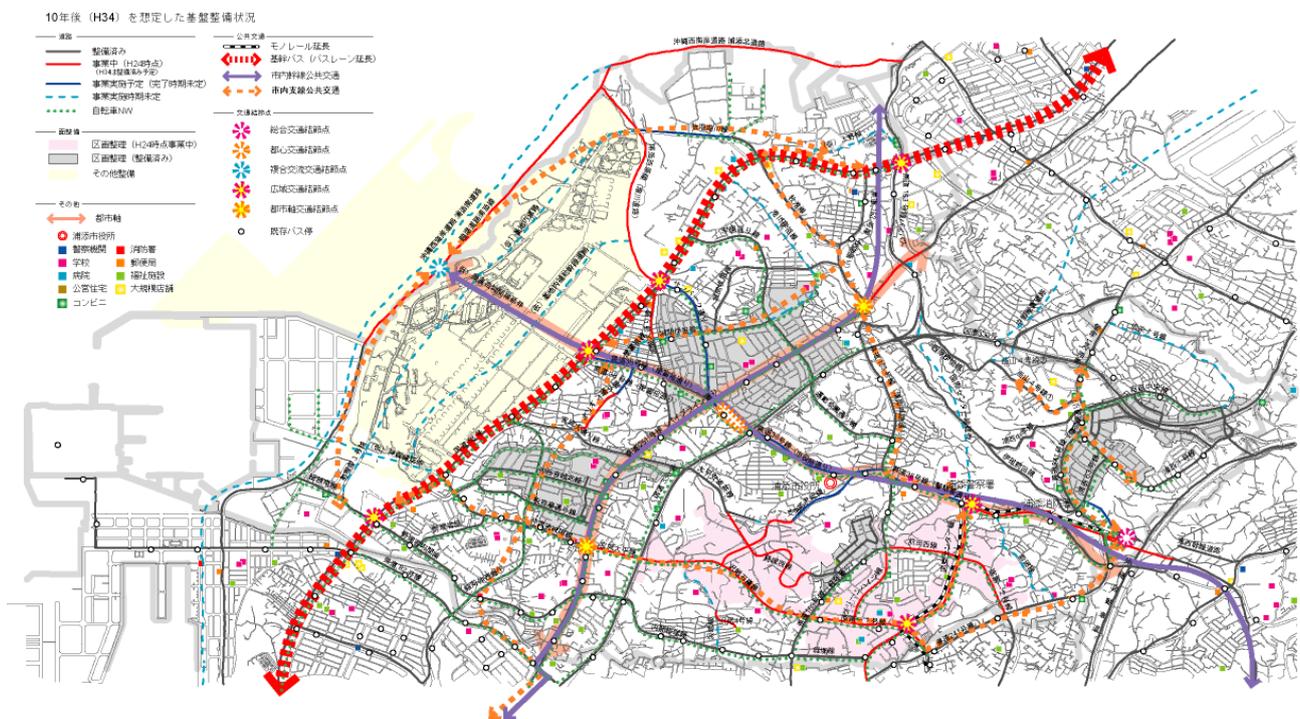


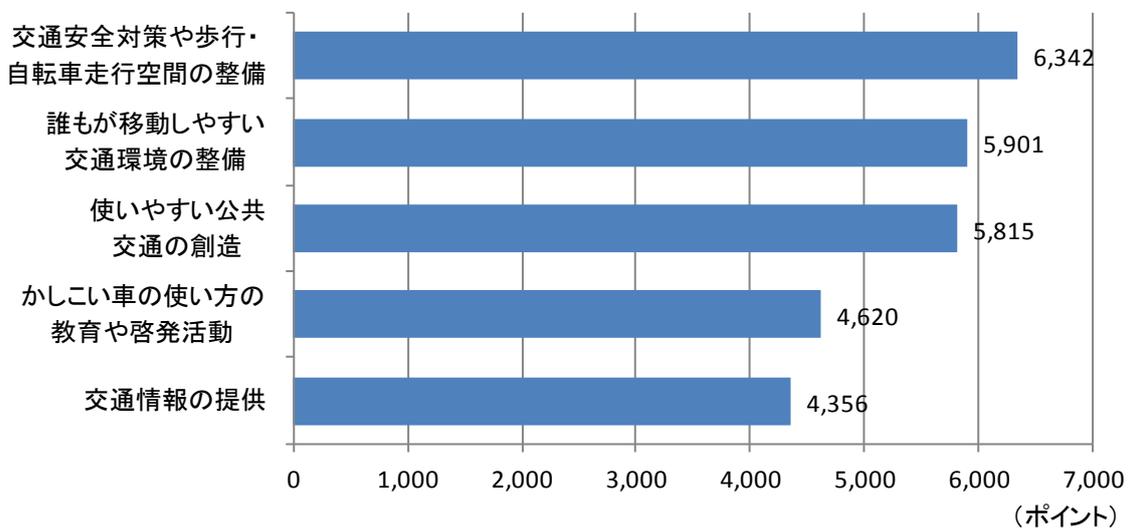
図 3-1 主な事業位置図

ポイント2：施策の実効性を高める

- ・施策の効果を高めるためには、広域レベルの施策と地区レベルの施策とが、各々の施策が持つ特性を考慮し、有機的に連携することが必要とされている。本計画においては、浦添市で進められている様々な広域レベルの施策（幹線公共交通、幹線道路等）と連携強化を図り、施策の実効性を高めるものとする。
- ・都市と交通は密接な関係があり、浦添市が抱える都市の問題・課題に効果的に対処するためには、両者の連携強化が必要とされている。本計画においては、浦添市における様々な面的開発、まちづくりの取組みと連携強化を図り、施策の実効性を高めるものとする。

ポイント3：地域との連携を高める

- ・計画の実行性と施策の実効性を高めるため、重要な要素の一つとして考えられるのが、地域との連携である。地域の連携を高めるためには、地域が持つ問題・課題を把握し、問題意識の共有化を図り、身近な交通問題を、地域と協働で取り組むことが必要であると考えられる。本計画においては、市民の関心が高く、交通の最も基礎的な配慮事項の一つである交通安全対策を切り口に、市民の生活環境を取り巻く様々な交通問題解決に向けて、市民と一体となって精力的に取り組むことで、地域との連携を高めるものとする。



再掲) 図 3-2 優先するべき政策 (n=1,945 人)

